



那覇市立教育研究所 所報

第7号

令和2年10月7日発行

所長 宮里 寧



「カリキュラム・マネジメント」の充実

所長

宮里
寧

日々に秋らしくなって参りました。時折街並みを駆け抜ける風が心地よく、猛暑だった8月と比べれば、朝夕はすいぶんすこしやすくなりました。さて、新学習指導要領では、各教科等で子どもたちに育む資質（①知識及び技能、②思考力・判断力・表現力等、③学びに向かう力、人間性等）を育むために、各学校では「主体的・対話的で深い学び」を通じた授業改善を図りながら、学習効果の最大化を図る「カリキュラム・マネジメント」の確立に努めるよう促しています。

一、「カリキュラム・マネジメント」とは
教育課程を核に、教育内容の組織化を図り、学校教育目標の実現を協働を通して目指す、當みのことです。

二、カリキュラム・マネジメントの三つの側面

①各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校の教育目標を踏まえた教科等横断的な視点で、その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列していくこと。
②教育内容の質の向上に向けて、子どもたちの姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立すること。
③教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源も含めて活用しながら、効果的に組み合わせること。

三、学校を動かす二つのライン

学校には日常の諸活動の機軸として、二つのラインがあります。一つは、学校教育目標（学年教育目標（学年経営案）→学級目標（学級経営案））、というラインです。もう一つは、学習指導要領（教科書（指導書））→授業（のラインです）。このようなラインが、二次的で、全体として調和を生み出すことになります。この両ラインのバランスを整えるべきは、この二つのラインが、調和的で、生き残るために、あたって鍵を握るのがカリキュラムです。それそれが個々に存在する當みを相互につきながら、効果的に組み合わせること。

四、全ての教職員に求められるもの

このようなカリキュラム・マネジメントに關する考え方や技法は、教職員全員にて求められるものです。校長など管理職に求められるものがカリキュラム・マネジメントであつて、多数の教職員には必要ないという意識が、校内に存在するところとするならば、まずは、その克服を図り、共通理解を目指すことからカリキュラム・マネジメントを始める必要があるといふことがあります。教科等や学年を超えて学校全体で取り組んでいくことができるようにしていくことが重要です。

五、カリキュラム・マネジメントはどう取り組むのか

教科横断的な取組、実施状況の評価、人的・物的体制の確保を通して教育の質的向上を図っていきます。

六、総則に拠つてカリキュラム・マネジメントを進める

教③新学習指導要領総則は、①小学校教育の基本と教育課程の役割、②教育課程の編成、③教育課程の実施と学習評価、④児童の発達の支援、⑤学校運営上の留意事項、⑥道徳、⑦新規則は、各学校のカリキュラム・マネジメント上の課題がどこにあるのか、それを考へる際のチエックリストとして機能するものであり、校内研修室長「総則の全体像」とカリキュラム・マネジメントの期待される」（大杉佳子・文部科学省教育課程企画室長）と、総則をカリキュラム・マネジメントとして機能させるというアイディアも提唱されましたが、これが実現するには、まずは総則を読んで、どうぞ」として計画を作成して展開を図つてみます。まずは総則を読むことから始めます。

10月の教育研究所事業予定

- 5日 (月) 第115期 研究員 入所式 (厚生会館)
- 22日 (木) 第10回中堅教諭等資質向上研修
(真和志庁舎3階)

令和3年度 教育研究員の募集について

令和3年度の教育研究員の募集が始まります。新設で『ICT教育』研究員を募集しています。詳細は、デスクネット・教育研究所Webページにも掲載いたします。先生方の積極的な応募をお待ちしております。なお、こども園教諭の教育研究員につきましては、募集要項を確認の上、こども教育保育課担当指導主査へ提出をお願いします。

新刊のお知らせ



書名	著者
子どもが世界に触れる瞬間	笠雷太 著
家庭、学校、職場で生かせる!自分と相手の非認知能力を伸ばすコツ	中山芳一 著
SDGs 時代の教育:すべての人に質の高い学びの機会を	北村友人 著
小学生のための読み・作文力がしっかり身につく本	中根克明 著
大事なことがまるっとわかる 研究主任1年目の教科書	小林康宏 著

第114期 教育研究員 修了式

9月26日(水)に、第114期 教育研究員の成果報告会並びに修了式が行われ、所属園・学校の校長先生をはじめ、来賓の方々にご列席頂きました。半年間の研究の成果を還元していくことを期待します。

